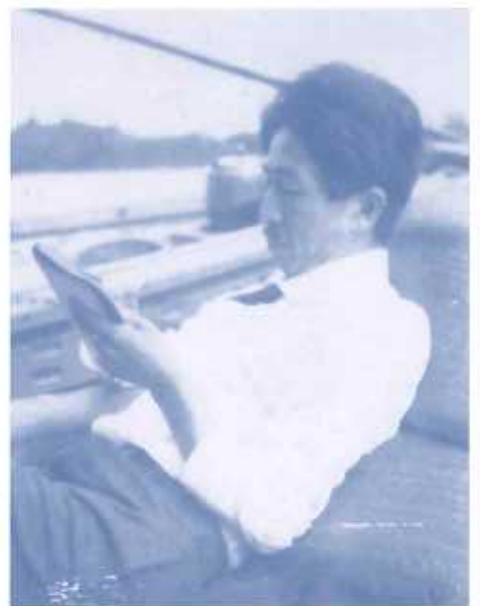


夢二の目と手

—「竹久家コレクション」のスケッチブックとスクラップブック—

詩人画家・竹久夢二(1884-1934)は、常にスケッチブックを携帯し、生涯で500冊余を残しています。青年時代に夢二の傍らで学んだ版画家・恩地孝四郎は、スケッチすることがまるで「呼吸をするかのよう」であり、その行為には純粋な喜びがあったようだと言っています。スケッチブックを紐解くと、どのページにも夢二の目と手で写し取られた感情が紙上に満ち溢れ、約100年を経た現代でも、人物画や風景画から立ち昇ってくる抒情に共鳴してしまうことすらあります。

この度の展覧会では、「竹久家コレクション」のスケッチブック32冊のうち20冊とともに、スクラップブック6冊も展示します。これはイメージの源泉ともいべきもので、夢二自ら「遺産」として大切にしていました。「夢二画集」シリーズの元となったスケッチや「黒猫を抱く女」の元となった図版などを作品と比較することにより、夢二が何に感動し、どのようなイメージを生み出したのか、その過程を紹介します。



スケッチブックに鉛筆を走らせる夢二(大正中〜後期か、個人蔵)



スケッチブック「旅愁記No.2」より
「三保にて」
(明治42年夏、
当館蔵「竹久家コレクション」)



「赤い糸と青い糸との音楽」
「夢二画集 夏の巻」
(明治43年4月、当館蔵)



「得度の日」
(明治45年3月、当館蔵)



スケッチブックより「こおろぎ嶽」
(大正6年8月12日、当館蔵「竹久家コレクション」)

金沢市内や
加賀温泉郷を描いた
スケッチブックは
全ページを
公開します

展覧会関連イベント

開催については、当館HPにてご確認ください。

各種イベント

※会場は全て当館、事前申込不要。

1 湯涌(ゆ・89)でわくわくしよう

毎月8・9日にご入館された先着20名に
当館オリジナルグッズをプレゼントします。

| 日にち |
8月8日(土)・9日(日)、9月8日(火)・9日(水)、
10月8日(木)・9日(金)、11月8日(日)・9日(月)

2 夢二の「東京災難画信」展

夢二が「都新聞」に連載した関東大震災の
絵入りルポの複製展示を開催。

| 開催期間 | 8月29日(土)〜9月6日(日)

3 HAPPY BIRTHDAY 記念 オリジナルグッズプレゼント

夢二の誕生日を祝って、先着50名に
当館オリジナルグッズをプレゼントします。

| 日にち | 9月16日(水)



スクラップブック「きりはり帖」
(大正〜昭和初期、
当館蔵「竹久家コレクション」)



スクラップブック「黒猫(古装帖)」
(大正〜昭和初期、
当館蔵「竹久家コレクション」)



「黒猫を抱く女」
(大正9年頃、当館蔵)

金沢湯涌夢二館
Kanazawa Yuwaku Yumeji-kan Museum

〒920-1123 石川県金沢市湯涌町イ144-1
TEL (076) 235-1112 FAX (076) 235-1115
http://www.kanazawa-museum.jp/yumeji/
e-mail yumeji@city.kanazawa.ishikawa.jp

開館時間：午前9時～午後5時30分(入館は午後5時まで)
観覧料金：一般・大学生310円、団体(20名様以上)260円
65歳以上210円(祝日無料)、高校生以下無料

【交通案内】

- 金沢駅よりタクシー約30分
- 金沢駅南六丁目より北鉄バス「湯涌温泉」行き約45分、
終点湯涌温泉バス停下車徒歩4分
- 北鉄自動車道金沢東インターより約45分、
金沢西インターより約50分、金沢東キインターより約30分
- 兼六園(金沢市中央区)から車で約20分

